

令和4年度
小・中学校教育課程編成の手引
【総則編】

4 カリキュラム・マネジメントの充実

北海道教育委員会

4 カリキュラム・マネジメントの充実

1 カリキュラム・マネジメントの重要性

カリキュラム・マネジメント

各学校においては、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、

①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと

②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと

③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」との関係

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る上でも、カリキュラム・マネジメントの充実が重要であり、各学校が持っている教育課程の編成・実施に関する裁量を改めて認識し、学校や地域の実態に応じて責任を持って柔軟に判断できるようにしていくことが大切

4 カリキュラム・マネジメントの充実

2 カリキュラム・マネジメントの充実に向けて

教育課程の編成

明確な教育目標の設定

- 教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にする。

教科等間のつながりを意識して教育課程を編成・実施

- あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力や、教科等の学習を通じて身に付けた力を統合的に活用して現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を、教育課程全体を見渡して育んでいくことが重要となる。

児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握

教育の目標を明確化

教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習の推進

教科等間のつながりを意識して教育課程を編成・実施することが重要

4 カリキュラム・マネジメントの充実

3 教育目標と教育課程の編成

「教育目標」を教育活動の質の向上につなげるために

- カリキュラム・マネジメントの必要性について教職員間で理解を深める
- 各学校における自己評価の現状を学校全体で改めて確認する
- 年度当初に重点目標を明らかにして、各分掌、学年、教科等、教職員一人一人が目標を考える場面を設定する 等

教育課程の編成・実施に当たっては

児童生徒が学校を卒業し社会に出た後も見通し、育成を目指す資質・能力を明確化

未来の姿から逆算して、現在の学年・教科・単元等でどのような指導を行うべきかという長期的な視点で行うことが重要

学校と家庭や地域、企業等とが育成を図る資質・能力やその重要性、発達の段階に応じた指導や長期的な視点に立った資質・能力の育成などについて認識の共有を図ることが重要

4 カリキュラム・マネジメントの充実

4 教科等横断的な視点からの教育課程の編成

教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を選択

- ◆ 各教科等の内容相互の関連を図りながら指導計画を作成
- ◆ 児童生徒の生活時間と教育の内容との効果的な組合せを考える

各教科等の関連を明らかにした指導計画例 （「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」（小・中学校編））

各教科等を網羅した事例（小学校）

年間指導計画（第4学年）											
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月			
総合的な学習の時間（70）	大好きみどり川 ―出発！ みどり川探検隊―（28） ○川と繰り返し関わり、川への思いを深める。 ○活動で発見した気持ち、思いを書きためる。 ○みどり川を愛する会の方と活動を通して、みどり川への思いを知る。				大好きみどり川 ―とことん探究！ みどり川探検隊―（30） ○自分が興味を持ったことについて探究し、川について自分の考えをもつ。 ○探検や調査活動を通して感じたこと、考えたこと、自分の思いを身近な人に伝える。						
国語（245）	本と出会う、友だちと出会う	本のつながりに気づく	詩	伝えたいことをはっきりさせて書く	本と友だちになるうたの書き方	調べたことを発表しよう	調べたことを発表しよう	調べたことを発表しよう	調べたことを発表しよう	調べたことを発表しよう	調べたことを発表しよう
社会（90）	住みよけらしをつくる地図の見方	水はどこから	山ろく	水のくらし	山のくらし	水のくらし	山のくらし	水のくらし	山のくらし	水のくらし	山のくらし
算数（175）	大きな数	円と球	わり算	1けたでわるわり算	資料の整理	角	三角	2けたでわるわり算	面積	小数	がい数
理科（105）	あたたかくなると	電気のはたらき	暑くなると	夏の星	私の研究	もののかさ	もののかさ	もののかさ	もののかさ	もののかさ	もののかさ
音楽（60）	歌と楽器のびびきを合わせよう	日本の音楽に親しもう	花笠音頭 神田ばやし	こきりこがし	いろいろなみどり川	音のちがいをかんじよう	音のちがいをかんじよう	音のちがいをかんじよう	音のちがいをかんじよう	音のちがいをかんじよう	音のちがいをかんじよう
図工（60）	たしかめながら	ざいりょう物語	きらきら光る絵	絵の具のふしぎ	石ころアート	みどり川の生き物	わすれられない日	ワンダーランドへようこそ	ぬのから生まれた	ゆめを広げて	ゆめを広げて
体育（105）	集団行動	かけこり	リズムダンス	一輪車	体力テスト	水泳	男女の体にズームイン	サッカー	ジョギング	マット運動	マット運動
	バスケットボール	スポーツフェスティバルに向けて	ハンドベースボール				ハードル走		跳び箱運動		

関連教科等を重点的に示した事例（中学校）

月	総合的な学習の時間の主な学習活動	教科等
5	①地域の暮らしに根付いてきた「炭」について関心を高めよう（8時間） ・昔の生活に欠かすことのできなかった「炭」について調べ、現代のエコ生活にも十分に活用できることについて理解する。 ・季節に応じて炭焼きに適した材料を集める計画やできあがった炭をどのように役立てるかの計画を立てる。	【社会】地理的分野 エ身近な地域の調査 【理科】第1分野（7）科学技術と人間（ウ）自然環境の保全と科学技術の利用 【技術】A材料と加工に関する技術ア、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること
6	②炭焼き名人森田さんから炭焼きの技を学ぼう（10時間） ・地域に住む炭焼き名人に品質の良い炭の焼き方を習い、火のおこし方、管理の仕方、炭の焼き方、焼き方のこつについて学び、実際に炭を焼く。	【技術】A材料と加工に関する技術ア、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること イ、技術の進展と環境との関係について考えること
7	③できあがった炭をどのように役立てるかもう一度計画を練ろう（4時間） ・できあがった炭を使って使用計画を作成する。それぞれの計画を基に意見交換しながら、全体としての計画をまとめていく。	【国語】B書くこと ア、日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること
	④炭の歴史や炭の活用法を調べ、計画に生かそう（2時間） ・計画立案の中で生まれてきたアイデアの実現可能性や炭のさらなる活用法を幅広く調査したり、情報収集したりする。	【国語】B聞くこと エ、必要に応じて質問をしながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること
	⑤できあがった炭を生活に役立てよう（4時間）	

4 カリキュラム・マネジメントの充実

5 教育課程の実施状況の評価と改善

児童生徒の資質・能力の育成に当たって

- 各種調査結果やデータ等を活用して、児童生徒や学校、地域の実態を定期的に把握
- 教育の目的・目標の実現状況や教育課程の実施状況を確認・分析
- 課題となる事項を見だし、改善



- 学力調査等の結果の活用をカリキュラム・マネジメントに位置付ける。
- 学習評価を教育課程の評価等と結び付ける。
- 教育課程の評価を学校評価と関連付ける。



学習評価の改善を授業改善及び組織運営の改善等に向けた学校教育全体のサイクルに位置付けていくことが必要



**教師全員がカリキュラム・マネジメントに参画し、
学校がチームとして取り組むことが重要**